【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第７区分
【発行日】平成21年12月17日(2009.12.17)

【公開番号】特開2008-230710(P2008-230710A)
【公開日】平成20年10月2日(2008.10.2)
【年通号数】公開・登録公報2008-039
【出願番号】特願2007-67977(P2007-67977)
【国際特許分類】
Ｂ６５Ｈ　29/52　　(2006.01)
Ｂ６５Ｈ　 5/38　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｂ６５Ｈ　29/52
Ｂ６５Ｈ　 5/38

【手続補正書】
【提出日】平成21年10月30日(2009.10.30)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
用紙に像を形成する作像装置と、
加熱される加熱体と前記加熱体に所定の圧力で接触する加圧部材とを備え、前記作像装置で形成された像を定着する定着装置と、
前記加熱体と前記加圧部材の接触部よりも用紙の搬送方向下流側の搬送通路の内部を視認することができる貫通孔と、を有し、
前記貫通孔は、用紙の搬送方向と交差する方向の開口距離がその搬送方向の開口距離よりも長い開口形状であるとともに、当該貫通孔の真上方向の延長線上の位置から見たときの用紙の搬送方向の開口距離が当該真上方向と交差する斜め方向の位置から見たときの開口距離よりも短いことを特徴とする画像形成装置。
【請求項２】
前記貫通孔は、前記真上方向の延長線上の位置から見たときに開口している請求項１に記載の画像形成装置。
【請求項３】
前記搬送通路は、前記接触部から用紙排出口に至る用紙排出用の搬送通路である請求項１又は２に記載の画像形成装置。
【請求項４】
前記貫通孔が、用紙の搬送方向と交差する方向に間隔をあけて複数形成されているとともに、
その貫通孔のうち用紙の搬送方向と交差する方向の端部の領域に配置される貫通孔の当該交差する方向の開口距離が、その端部の領域以外の領域に配置される貫通孔の当該交差する方向の開口距離よりも短い請求項１～３のいずれかに記載の画像形成装置。
【請求項５】
前記貫通孔が、用紙の搬送方向に所定の間隔をあけて複数形成されているとともに、
当該搬送方向において隣り合う当該貫通孔どうしの間に、当該搬送方向と交差する方向に連続した状態で延びる突起が形成されている請求項１～４のいずれかに記載の画像形成装置。

【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００９
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００９】
この発明は、主に、定着が進行中又は完了した後の用紙の一部又は全部が搬送通路内に詰まった場合でも、その用紙を容易に視認することができる画像形成装置を提供するものである。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１０
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１０】
この発明（Ａ１）の画像形成装置は、用紙に像を形成する作像装置と、加熱される加熱体と前記加熱体に所定の圧力で接触する加圧部材とを備え、前記作像装置で形成された像を定着する定着装置と、前記加熱体と前記加圧部材の接触部よりも用紙の搬送方向下流側の搬送通路の内部を視認することができる貫通孔と、を有し、前記貫通孔は、用紙の搬送方向と交差する方向の開口距離がその搬送方向の開口距離よりも長い開口形状であるとともに、当該貫通孔の真上方向の延長線上の位置から見たときの用紙の搬送方向の開口距離が当該真上方向と交差する斜め方向の位置から見たときの開口距離よりも短いものである。
【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１１】
この発明（Ａ２）の画像形成装置は、上記発明Ａ１の画像形成装置において、前記貫通孔は、前記真上方向の延長線上の位置から見たときに開口しているものである。
【手続補正５】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１２
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１２】
この発明（Ａ３）の画像形成装置は、上記発明Ａ１又はＡ２の画像形成装置において、前記搬送通路は、前記接触部から用紙排出口に至る用紙排出用の搬送通路であるものである。
【手続補正６】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１３
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１３】
この発明（Ａ４）の画像形成装置は、上記発明Ａ１～Ａ３のいずれかの画像形成装置において、前記貫通孔が、用紙の搬送方向と交差する方向に間隔をあけて複数形成されているとともに、その貫通孔のうち用紙の搬送方向と交差する方向の端部の領域に配置される貫通孔の当該交差する方向の開口距離が、その端部の領域以外の領域に配置される貫通孔

の当該交差する方向の開口距離よりも短いものである。
【手続補正７】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１４
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１４】
この発明（Ａ５）の画像形成装置は、上記発明Ａ１～Ａ４のいずれかの画像形成装置において、前記貫通孔が、用紙の搬送方向と交差する方向に間隔をあけて複数形成されているとともに、その貫通孔のうち用紙の搬送方向と交差する方向の端部の領域に配置される貫通孔の当該交差する方向の開口距離が、その端部の領域以外の領域に配置される貫通孔の当該交差する方向の開口距離よりも短いものである。
【手続補正８】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１５
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正９】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１６】
上記発明Ａ１乃至Ａ３の画像形成装置によれば、定着が進行中又は完了した後の用紙の一部又は全部が搬送通路内に詰まった場合でも、その用紙を容易に視認することができる。
【手続補正１０】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１７】
上記発明Ａ４の画像形成装置では、発明Ａ４の構成を有しない場合に比べて、貫通孔のうち用紙の搬送方向と交差する端部領域に配置される貫通孔からの異物の浸入が抑制される。これにより、用紙搬送装置やその下方に配置される他の装置における駆動伝達機構や駆動装置がある場合に、その駆動伝達機構や駆動装置に異物が浸入することによる故障の発生が抑止される。
【手続補正１１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１８】
上記発明Ａ５の画像形成装置では、発明Ａ５の構成を有しない場合に比べて、搬送通路における強度が補強される。
【手続補正１２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１９
【補正方法】削除
【補正の内容】

【手続補正１３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２０
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正１４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２１
【補正方法】削除
【補正の内容】